

ALLwatch Tips

2014 年 7 月号
オムロンソフトウェア株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。
「ALLwatch」は弊社が提供するモニターサービスの総称です。

漏電予防保全機能のご紹介 その 2

ALLwatch Tips 2014 年 4 月号にてご紹介した漏電予防保全機能についてですが、前回ご紹介できていなかった「漏電警告設定機能」「月報印刷（漏洩電流グラフ）機能」についてご紹介します。

（1）漏電警告設定機能

指定した漏電 CH の基準値を超過した件数を集計し、結果を週単位および月単位に集計したデータを指定メールアドレスへ送信する機能となります。週次では曜日毎・時間帯毎の超過件数のデータが、月次では曜日毎・時間帯毎・日毎の超過件数のデータが送信されます。

基準値を H 警報と同値（= 50mA）に設定すると、週次・月次の警報発生集計としてご利用いただけます。また、前回ご紹介している「漏電予兆監視モード」機能と組み合わせて利用することにより、50mA 超過前の状況や傾向が把握でき、漏電発生となりうる要因追跡に役立てることができます。

漏電警告設定

■漏電基準値設定

CH	通知	基準値
1er ZCT0(A103)	☐	40 mA
10 ZCT1(A105)	☐	40 mA
1er ZCT2(A107)	☐	40 mA
10 ZCT3(A109)	☐	40 mA

■漏電基準値超過件数レポート宛先設定

メール宛先(最大512文字)	通知する	メール確認テスト
	☒	送信

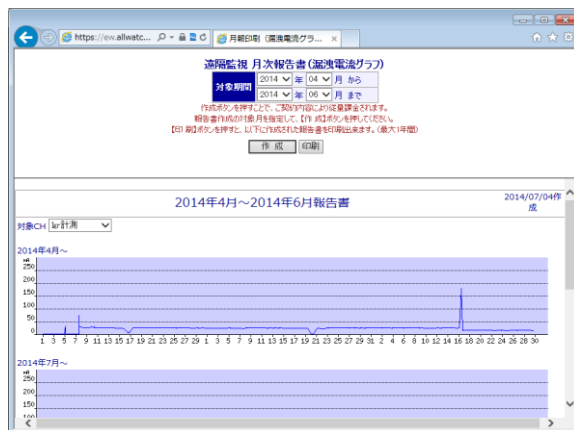
※カンマ区切りで複数の宛先を設定できます

設定

（2）月報印刷（漏洩電流グラフ）機能

通常の月報印刷機能とは別に、最大 1 年までの漏電発生状況をグラフに出力する機能となります。グラフに描画されるデータは定期送信および警報発報時のデータを元に 3 ヶ月毎に 1 つのグラフで表示されます。

本機能により過去 1 年間の漏電発生状況を CH 毎に 1 つの画面で確認することができるため、長期での漏電発生状況把握に役立てることができます。また、本情報を元に「漏電予兆監視モード」や「計測間隔自動変更予約機能」による詳細情報取得の判断に役立てることもできます。



前回および今回ご紹介している機能を利用いただくことで、漏電発生状況の確認・把握、漏電発生時の要因追跡に活用できますので是非ともご利用ください。なお、ご紹介機能についてはご契約メニューによっては従量課金対象の機能もございますので詳細はマニュアルをご確認のほどお願い致します。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。

0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))